

第13回金型関連技術発表講演会開催のご案内

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

日頃は日本金型工業会の活動に格別のご理解ご協力賜り厚く御礼申し上げます。

さて、西部支部主催第13回金型関連技術発表講演会を3月18日（火）に開催致します。万障お繰り合わせの上ご出席のほどお願い申し上げます。なお準備の都合がございますので、別紙の参加申込書に必要事項をご記入の上、3月10日（月）までに、事務局にメールr.tsuji@jdmia.or.jp か FAX06-6479-1479でご返信のほどお願い申し上げます。

敬具

記

日 時 令和7年3月18日（火） 14時00分～17時15分

17時40分～懇親会（予定）

内 容 **技術発表講演会**

※6社による金型関連技術発表

場 所 大阪科学技術センタービル 8階小ホール

大阪府大阪市西区靱本町1-8-4 【別紙案内図参照】 ※懇親会場（本町駅付近を予定）

参加費 無料

懇親会 5,000円（当日現金にて申し受けさせていただきます）

※申し込み後、懇親会をキャンセルされます場合は3月14日までにご連絡下さい。

（当日キャンセルの場合は懇親会費を後日請求させていただきます）

申込み方法 別紙参加申込書を3月10日までにメールかFAXでお送り下さい

メール r.tsuji@jdmia.or.jp

FAX 06-6479-1479

問い合わせ先・申込先 一般社団法人日本金型工業会西部支部 辻

〒550-0004 大阪府大阪市西区靱本町1-8-4 大阪科学技術センタービル305

電話 06-6479-1477 FAX 06-6479-1479

メール r.tsuji@jdmia.or.jp

以上

【プログラム①】

テーマ：超硬シャンクアーバを用いた深掘り加工実例

会社名：ダイジェット工業(株)

発表者：津曲 達也 氏

発表内容

近年、電動自動車の台頭とともに「ギガキャスト」が注目を浴びている。ギガキャストとは従来よりも大きな型締め力のダイカストマシンにて複雑形状の大物部品を一発成形する技術である。この技術の利点として、先に記述した大物部品の一発成形による大幅な部品点数の削減、それに伴い従来であれば必要であった多数の溶接工程の削減などがもたらす生産性の向上、車体重量の軽量化などが挙げられている。

一方、ギガキャストに用いられる金型は大型化し、加えて複雑形状化することが容易に想像でき、これにより金型製作の場面では工具突き出し長さを長くして切削加工せざるを得ない場面が出てくるだろうと予想することができる。

そこで今回、合金鋼に対し約2.5倍の高いヤング率をもつ超硬合金からなるシャンクアーバを用い、工具突き出し長さをL/D=10以上で荒加工する場面を想定し検証を行ったのでその実例を紹介する。

【プログラム②】

テーマ：その時代に合った金型づくりへ「分業とGrow の開発」

会社名：(株)黒田製作所

発表者：安藤 進 氏

発表内容

日本製造業の成長期は当の昔に終焉を迎え、型費の低迷、若者の製造業離れ、残業時間規制、物価高騰など、昨今の金型業界は厳しさを増すばかりです。

弊社は今年で創業50周年を迎えます。この半世紀の間、常にその時代の潮流を捉えることに着眼し新しい事に挑戦しながら金型づくりをして参りました。

今は何をすべきなのか、今を生き抜くために金型工程管理支援システムGrow を自社開発し稼働を開始。開発に至るまでの経緯とGrow の特徴、稼働後の声や課題、今後の展望などをお話しできればと思います。

【プログラム③】

テーマ：エンドミルケースの金型内製化による加工アプリケーション創出

会社名：(株)MOLDINO

発表者：池部 哲夫 氏

発表内容

- ・エンドミルケース金型製作の趣旨・目的
- ・製作プロセス
- ・加工 金型の合わせ部位の高精度加工
製品形状部の5軸加工
磨き工数削減の為の鏡面加工
- ・組み立て
- ・成形
- ・金型づくり実績アプリケーション

【プログラム④】

テーマ：金型水冷管内部のシリカスケールの洗浄技術に関して

会社名：長瀬産業(株)

発表者：今野 光三 氏

発表内容

金型の水冷管内部のシリカスケールを短時間かつ効率的に洗浄する方法を紹介致します。

今まで金型内部のシリカスケールは薬液処理では完全除去が難しく、物理的な洗浄処理に頼っていましたが、この度比較的安全な薬液でシリカスケールを処理する技術を開発致しました。

今回はシリカスケールの発生メカニズム～薬液での安全かつ効率的な除去メカニズムをご紹介します。

【プログラム⑤】

テーマ：CAE活用；樹脂部品の組立て（アセンブリ）後の反り予測

会社名：(株)CAEソリューションズ 発表者：大桑 一 氏

発表内容

樹脂流動解析の主な目的は、金型製造前の設計段階で成形不良を見つけ不具合を未然に防止することです。成形不良の一つに「反り変形」があります。反り解析は通常部品単体で行いますが、樹脂部品の組立て（アセンブリ）後に部品単体とは異なる変形が生じる場合があります。不具合として手戻りの発生が懸念されます。

本講演では、組立て状態を考慮した反り解析の有効性について、事例をもとに紹介いたします。

【プログラム⑥】

テーマ：解析業務にリアルデータを適用する技術のご紹介

会社名：(株)アルモニコス 発表者：黒田 真優 氏

発表内容

本稿では業界全般で普及している「非接触測定機を利用したリバースエンジニアリング業務」に焦点をあて、現在解析業務での課題となっているリアルな実物形状での解析を実現させる手法として、解析用メッシュSTLデータをリアルな非接触測定STLデータに対し変形し、実際の「リアル」形状を解析技術「バーチャル」に適用する技術について紹介する。


第13回金型関連技術発表講演会（3月18日）
参加申込書
（FAX 06-6479-1479）

会社名		
部署名／お役職		() 発表会
お名前		() 懇親会 5,000円
部署名／お役職		() 発表会
お名前		() 懇親会 5,000円
電話番号／FAX	電話：	FAX：
メールアドレス		

※1社何名でもご参加頂けますので申込書をコピーしてご使用下さい。

下記に○を付けて下さい。

（一社）日本金型工業会 （ 会員 会員外 ）



大阪科学技術センタービル
 (OSTEC)
 〒550-0004
 大阪市西区鞆本町1-8-4

地下鉄四つ橋線「本町駅」
 28番出口より北へ徒歩3分

地下鉄御堂筋線「本町駅」
 2番出口より西へ徒歩7分

「大阪科学技術館」の看板が目印です。そちらにお入り下さい。駐車場がございませんので、公共交通機関をご利用下さいます様お願い申し上げます。